



ひらかわ

市議会だより

平成26年
6月定例会

第35号

平成26年9月15日発行



目次

| | |
|----------------------|------|
| ◆平成26年第2回（6月）定例会（概要） | 2 |
| （審議した議案） | 3～5 |
| ◆議決一覧表 | 6 |
| ◆市政に関する一般質問より（5議員） | 7～12 |
| ◆議員表彰 | 13 |
| ◆議員全員協議会開催 | 14 |
| ◆新議員の顔ぶれ | 15 |
| ◆議会の動き・編集室から | 16 |

完熟
津軽の桃「あかつき」

発行：青森県平川市議会 編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地6 TEL(0172)44-1111 FAX(0172)44-6988

平川市ホームページ：<http://www.city.hirakawa.lg.jp/> メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp

第2回 (6月) 定例会

平成26年第2回平川市議会定例会は、6月12日から19日までの8日間を会期として開催されました。

6月からはじまったクールビズにより、議員、理事者ともにノーネクタイにて審議しました。

本定例会に提出されました議案は、人事案2件、条例案4件、補正予算案3件、財産の取得案1件の合わせて10件と報告6件（うち承認を求めるもの2件）でした。また、最終日（19日）には平成26年度補正予算案が1件追加提案されました。

これらを慎重に審議した結果、議案第73号、専決第2号、専決第3号は起立採決の結果、原案可決または承認となりました。その他の議案については全て原案同意、または原案可決、承認となりました。



【会期日程】

- 6月12日(木) 本会議
- 6月13日(金) (議案熟考のため休会)
- 6月14日(土) (休会)
- 6月15日(日) (休会)
- 6月16日(月) 常任委員会
- 6月17日(火) 本会議 (一般質問)
- 6月18日(水) (議事整理のため休会)
- 6月19日(木) 本会議 (最終日)

審議した議案

（※質疑内容は要約し、抜粋して掲載しています。）

人事案件

●人権擁護委員に

おがさわら あきはる
小笠原 昭治 氏を同意

人権擁護委員 小笠原昭治氏の任期が平成26年9月30日をもって満了するので、再任について同意した。

住 所 平川市広船
昭和24年生

●人権擁護委員に

やまだ きみこ
山田 君子 氏を同意

人権擁護委員 山田君子氏の任期が平成26年9月30日をもって満了するので、再任について同意した。

住 所 平川市碓ヶ関
昭和21年生

足分を賄うため繰り入れている国民健康保険財政調整基金の残高が減少しており、税率・税額を据え置いたままの場合、平成27年度当初予算時に不足を生じる見込みとなることから、平成28年度末までの不足を解消する見通しのもと、改正することとした。

反対討論あり

平均3,922円、4.6%の引き上げというルール通りの運営ということだが、消費税増税等家計を圧迫している社会情勢上、法定外繰り入れなどの措置を講じるべきではなかったかとの見地から反対する。

賛成討論あり

今後とも国保被保険者の高齢化は進み、保険給付費は増加することが見込まれる中、安心して医療が受けられるよう将来にわたり安定した国民健康保険事業の健全化を目指すためには必要な税率の改正であることから賛成する。

条例案・条例改正案

●平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案

（平成26年6月20日から施行）

国民健康保険税に基礎課税額について、被保険者所得割額及び均等割額を改め、並びにその他所要の改正を行うため。

質 疑

問 改正による国民健康保険税の増額の平均は。

答 今回の改正は、所得割に係る税率を7.6%から8.2%、被保険者均等割額を2万円から2万3,800円に引き上げるものであり、平均は3,922円、4.6%の増となる。

問 改正に至った経緯は。

答 例年、国民健康保険特別会計の当初予算に係る不

●平川市手数料条例の一部を改正する条例案

（平成26年8月1日から施行）

青森県屋外広告物条例及び青森県知事の権限に属する事務の事務処理の特例に関する条例の一部改正に伴い、青森県屋外広告物条例第10条第3項の規定による許可の期間の更新に関する事務の手数料を徴収するため。

質 疑

問 改正内容について。

答 屋外広告物の期間の更新について規定がなかったため追加したものである。

●平川市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例案

（平成26年11月1日から施行）

未就学児に係る医療費の自己負担に係る費用について、全額助成するため。

質 疑

問 改正後の4歳児以上の医療費の給付方法は。

答 これまで3歳児までに行われていた現物給付の方法と同様に、医療機関窓口での対象医療費の支払いがなくなる。

●平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案

（平成26年6月20日から施行）

企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第20条の地方公共団体等を定める省令の一部改正に伴い、承認企業立地計画に従って設置される施設における特例の適用期限を延長するため。

質 疑

問 特例の適用期限を2ヶ年延長したことで対象となる施設があるのか。

答 対象となる見込みの施設は、今現在は無い。

そ の 他

●財産の取得について

消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車（普通車）1台及び小型動力ポンプ積載車（軽自動車）1台を取得するため。

質 疑

問 指名業者はどのように選んでいるのか。

答 これまでの実績と現在の財務諸表について総合的に勘案して指名している。

補 正 予 算

●平成26年度平川市一般会計補正予算案（第1号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ7億4,729万4,000円を追加し、総額を173億729万4,000円とする。

質 疑

問 農地中間管理事業業務委託について。

答 所管する課は農林課と平川市農業委員会。農林課では貸付や農地を貸す人の管理、この制度を農業者に周知させる業務。農業委員会では借りる人の

管理、及びそのための台帳等を管理することが大きな概要である。

問 防犯灯のLED化事業委託料について。これは街灯も入るのか。

答 平川市全体で防犯灯・街灯が4,072ほどあり、その全てを調査するという事で予算計上している。

問 市民歌制定事業委託料の委託予定業者は。また、歌手の選定や作成時期は。

答 委員会より、業務委託の他に作曲等が生業の市民の方も視野に入れてはどうかという意見も出たため、どちらにするかは委員会とも十分検討しながら決めていきたい。

問 町会加入促進事業について。現在、町会の行事における参加率が少ない。町会の内容を知らない人がたくさんいるため、たまに広報に載せ、できるだけ加入していただくようなシステムをつくってはどうか。

答 現在開催しているまちづくり懇談会は、町会のある方や町会員の考えも含めて広報に載せている。いずれにしても、町会加入そのものも広報活動に入れて努めていきたい。

問 子育て住宅支援補助金について。この制度を利用する人の実態は。

答 本年度の申し込みの状況としては、全部で51世帯、大人が146人、子どもが86人である。

問 災害復旧費について、現在の状況は。

答 台風18号に基づく災害の復旧状況であるが、工事が全部で401箇所ある中で発注すべき工事は363箇所。それに対して6月6日現在、発注の進捗は90.5%である。完成の状況が363箇所のうちの319箇所。進捗率が79.6%で、もう工事が終わり引き渡しが終わったものは109箇所である。

問 総合運動施設費の工事請負費の中身について。

答 工事は3つあり、野球場サブグラウンドも兼ねる形式の尾上スポーツセンター多目的広場の整備工事が1億3,872万1,000円、屋内運動場のドームとプールの水銀灯をLEDに換える交換の工事が1,739万9,000円、尾上の体育館の水銀灯をLEDに換える工事が359万4,000円である。

問 子育て世帯臨時特例給付金について。これから消費税が10%になるがその時はまた実施するのか。

答 福祉給付金と一緒にやっているこの子育て臨時特

例給付金は、今回限りのものである。

●平成26年度平川市水道事業会計補正予算案（第1号）

収益的支出の水需要推計業務の委託料調整で474万2,000円を増額する。

質 疑

問 委託料の内訳について。

答 基本計画に係る水需要予測の策定のための委託料である。

●平成26年度平川市新館財産区一般会計補正予算案（第1号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ8万5,000円を追加し、総額を9万6,000円とする。

●平成26年度平川市一般会計補正予算案（第2号）

予算の総額に歳入歳出それぞれ2,839万6,000円を追加し、総額を173億3,569万円とする。

報 告

●放棄した私債権の報告について

（報告のみ）

時効や生活困窮等による未収金等を放棄する。

●専決第2号 平川市税条例等の一部を改正する条例

（原案承認）

地方税法等の改正に伴い、平川市税条例及び平川市税条例の一部を改正する条例を改正する必要があるため。

質 疑

問 地方税法等の改正に伴い、周りの各市町村は臨時議会等で対応しているが、平川市はなぜ専決処分としたのか。

答 6月で間に合う場合もあるが、施行日が4月1日のものもあり3月にやらざるを得なかったため。

●専決第3号 平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

（原案承認）

地方税法施行令の一部改正に伴い、国民健康保険税の後期高齢者支援金等課税額及び介護納付金課税額の課税限度額を改め、並びに被保険者均等割額及び世帯別平等割額を減額する基準を改め、並びにその他所要の改正を行う必要が生じたため。

質 疑

問 後期高齢者支援金と課税額、及び介護納付金課税限度額それぞれの影響額は。

答 改正前の限度額の世帯が144世帯、改正後は99世帯。45世帯減の見込みである。

これに伴い、7割軽減、5割軽減、2割軽減のほうも拡充されている。軽減の対象が2,751世帯から3,098世帯、347世帯増。内容は、5割軽減の世帯が398世帯増、2割軽減の世帯が51世帯減である。

●平成25年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について

（報告のみ）

平成25年度国および県の補助事業及び単独事業合わせて8事業について、地方自治法施行令第146条第2項の規定に基づき、平成25年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書を調製した。

●平成25年度平川市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について

（報告のみ）

平成25年度単独事業（3事業）について、地方自治法施行令第150条第3項の規定に基づき、平成25年度平川市一般会計事故繰越し繰越計算書を調製した。

●専決第4号 平成25年度平川市一般会計補正予算（第8号）

（原案承認）

予算の総額に歳入歳出それぞれ2億5,133万3,000円を追加し、総額を182億4,817万7,000円とする。

●専決第5号 損害賠償額の決定について

（報告のみ）

車両事故による損害賠償の額を定めることについて専決処分する。

平成26年
(6月議会)

第2回 定例会議決一覧表

| 議案 番号 | 議案名 | 本会議 | | 常任委員会 | | |
|--------------------|--------------------------------|------|------|-------|------|----|
| | | 結果 | 備考 | 付託先 | 結果 | 備考 |
| 【人事案件】 | | | | | | |
| 71 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 原案同意 | | 付託省略 | | |
| 72 | 人権擁護委員候補者の推薦について | 原案同意 | | 付託省略 | | |
| 【条例案・条例改正案】 | | | | | | |
| 73 | 平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 | 起立採決 | 教育民生 | 原案可決 | |
| 74 | 平川市手数料条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 | | 建設経済 | 原案可決 | |
| 75 | 平川市乳幼児医療費給付条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 | | 教育民生 | 原案可決 | |
| 76 | 平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 | | 建設経済 | 原案可決 | |
| 【補正予算案】 | | | | | | |
| 78 | 平成26年度平川市一般会計補正予算案(第1号) | 原案可決 | | 付託省略 | | |
| 79 | 平成26年度平川市水道事業会計補正予算案(第1号) | 原案可決 | | 建設経済 | 原案可決 | |
| 80 | 平成26年度平川市新館財産区一般会計補正予算案(第1号) | 原案可決 | | 付託省略 | | |
| 81 | 平成26年度平川市一般会計補正予算案(第2号) | 原案可決 | | 付託省略 | | |
| 【その他】 | | | | | | |
| 77 | 財産の取得について | 原案可決 | | 付託省略 | | |
| 【報告】 | | | | | | |
| 2 | 放棄した私債権の報告について | | | | | |
| 3 | 専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて | | | | | |
| | ・専決第2号 平川市税条例等の一部を改正する条例 | 原案承認 | 起立採決 | 付託省略 | | |
| | ・専決第3号 平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 | 原案承認 | 起立採決 | 付託省略 | | |
| 4 | 平成25年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について | | | | | |
| 5 | 平成25年度平川市一般会計事故繰越し繰越計算書の報告について | | | | | |
| 6 | 専決処分した事項の報告並びに承認を求めることについて | | | | | |
| | ・専決第4号 平成25年度平川市一般会計補正予算(第8号) | 原案承認 | | 付託省略 | | |
| 7 | 専決処分した事項の報告について | | | | | |
| | ・専決第5号 損害賠償額の決定について | | | | | |

市政に関する一般質問より

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問します。ここでは内容を要約して掲載しております。



平成26年 第2回(6月)定例会 一般質問傍聴席

※6月定例会では27名の方が傍聴されました

1. 古川 敏夫 議員 (一括質問方式)

1. 福祉行政について
2. 地域活性化事業について

2. 齋藤 政子 議員 (一括質問方式)

1. 空き家に対する早期対策を
2. 通学路の拡幅について (町居～平賀東中学校) (県道 吹上金屋黒石線)
3. 平川市の橋の補修計画について

3. 福土恵美子 議員 (一括質問方式)

1. 定住人口対策について
2. 通学路の安全確保について
3. 職員の恒久的残業対策について

4. 工藤 竹雄 議員 (一括質問方式)

1. 第2期平賀総合運動施設整備事業について

5. 齋藤 律子 議員 (一問一答方式)

1. 平川市長選挙における公職選挙法違反、並びに市社会福祉協議会やグループホームの事件報道について
2. 第2期平賀総合運動施設整備事業について
3. 庁舎建設計画について



古川 敏夫 議員

1. 福祉行政について

問 ①今回の介護保険の給付基準の変更で要支援認定者が受けられなくなるサービスがあるようだが、現在の平川市の認定者の人数は。
②介護保険の給付から要支援認定者の訪問介護と通所介護を外し、ボランティア等の市町村の地域支援事業に移すとあるが、いままでの要支援認定者へのサービスはどのように変わるのか。

答 ①平成26年5月末現在、要支援1が215名、要支援2が222名、合わせて437名が介護予防の必要な方として認定されている。
②今回の見直しにより、介護事務所による既存のサービスに加え、NPO・ボランティア・民間企業等による多様なサービスの提供が可能となる。現段階では、既存の専門的なサービスが必要な人は市町村が適切に判断して提供するということが報道されているが、その基準や総合事業の事業費の上限の問題等、確定していないものも多数ある。

今後も情報を収集・分析し、要支援の方々の自立に向けた効果的な施策が展開できるよう努めていきたい。

2. 地域活性化事業について

問 平川市の農産物を活用・地産地消を実施するために、平賀商店街または商工会隣りの空き地において、軽トラックを利用しての青空市場を開催してはどうか。

答 市内には農産物直売所が有人・無人を含めて11箇所あり、独自に活動・運営している。また、市において毎年地産地消・食育推進フェアとして「ひらかわフェスタ」を開催し、市内の農業団体等による農産物の販売を行ってきている。これらの直売所をPRし、消費者が地域に買いに行くことも地域間の交流及び地域活性化につながると考える。

これまでも生産者及び直売所関係者に対して軽トラ市の開催について意向調査をしており、現在は開催の意向は無かったものの、今後開催希望があった場合には市農産物の消費拡大及び地域活性化に向けて協力していきたい。



問 消費拡大はもちろんのことだが、地域活性化するのが目的である。青空市場をやっていくことで知名度が上がり、市外の人が家族連れで遊びにきたりできるようなことをしたい。

答 意向調査の中で、現在ある直売所を活用したほうがいいのではないかという声が圧倒的に多かったため、軽トラ市が行われてこなかった経緯がある。

県内でも五所川原市など、軽トラ市を開催して大々的に地域活性化及び農産物の販売、消費拡大を行っている地域は全国的にも多数ある。

まずは参加する団体や農家があるのかどうかを調査した上で推進していきたいと考えている。



齋藤 政子 議員

1. 空き家に対する早期対策を

問 空き家条例の設置について、平川市の取り組み状況や今後の予定は。

答 取り組み状況としては、他自治体の先進事例の情報収集と分析を行い検討するなど、条例制定に向けて準備を進めている。

今後は、庁内関係課による検討会議の立ち上げ、外部の意見や提案をいただくための会議を設置するなどの実効性のある条例となるよう議論を重ね、平成27年3月定例会への提案を目指したい。

問 他市町村の空き家条例の制定についての動きは。

答 県内では、青森市、八戸市、五所川原市、むつ市、つがる市の5市、藤崎町、深浦町、中泊町、大間町、田子町の5町が制定済み。弘前市は9月に上程予定、黒石市は未定である。

2. 通学路の拡幅について（町居～平賀東中学校） （県道 吹上金屋黒石線）



問 通学路の拡幅、生け垣のその後について。

答 当路線はすでに平成8年から平成17年度に新館工区が完成、平成18年から平成23年度に町居工区の一部が完成し、供用が開始されている。

町居十字から平賀東中学校までの整備計画だが、事業主体である中南地域県民局で今年度より交通安全施設整備事業として着手している。今年度は路線測量、道路設計、用地測量及び建物補償調査を行い、平成27年度に用地買収及び補償物件の契約を予定している。今後は県・町会及び地権者と協議を進め、早期完成に努めていきたい。

問 平成27年度から用地買収等の予定ということだが、最近の状況は。

答 県の具体的、金額的詳細については、これから測量等のためまだ開示されていない。方向としては測量関係、建物の補償関係から入っていく予定。できれば平川市としては、用地を確保でき次第、率先して関与していきたい。



町居の生け垣

3. 平川市の橋の補修計画について

問 ①補修が必要な51橋のうち平賀、尾上、碓ヶ関地区の橋の数は。

②補修の計画は。

③15メートル以上の基準の根拠は。

答 ①平賀地区が25橋、尾上地区が2橋、碓ヶ関地区は31橋である。

②平成21年度から平成23年度までの三カ年で、対象となる15メートル以上の58橋について調査を行い、平成24年度に十年の修繕計画を策定した。おおむね1カ年につき5橋ほどの計画である。

③青森県の橋梁長寿命化修繕計画において、橋長15メートル未満に関して日常点検や維持工事などの簡易な点検を主体とする維持管理を行うこととしており、当市においてもこれを準用しているため。



福土恵美子 議員

1. 定住人口対策について

問 ①旧カントリーエレベーター跡地の今後の活用内容・基本の方針は。
②種子センターの現状と今後の方向性について。
③平賀駅裏の開発について。

答 ①当該地は平成24年に解体され更地となっているが、津軽みらい農協に確認したところ、現在、土地利用計画として具体的なものはないそうである。

②平成22年1月に津軽みらい農協から旧カントリーエレベーターと種子センター建設に関しての支援要望があったが、津軽みらい農協の経営事情により種子センター建設は断念した経緯がある。

現在は経営事情も好転し、建設について再度検討され始めているため推移を見守りたい。

③将来的な周辺地開発の方向性については、各種土地利用計画の方針に基づき慎重に進めていきたい。

2. 通学路の安全確保について

問 ①樹木の枝折れ等の街路樹対策、アメリカシロヒトリ対策について。
②古くなった各種標識・看板等についての対策は。

答 ①街路樹対策については日常業務において道路パトロール等を実施しているが、加えて要望・苦情等があれば現場を確認の上、早急に対応しているところである。

害虫駆除の件は、柏木町のゆとりの駐車帯、駅前のポケットパーク、商工会隣のふれあい広場、光城地区の街路樹は、土木課で毎年2回の薬剤散布を実施。県道部分の街路樹は害虫を確認次第、中南地域県民局へ連絡し駆除をお願いしている。また、昨年同様、防除を行う町会には防除器具一式の貸出、薬剤の無料配布を実施。一般家庭の樹木については、土地所有者に対応をお願いしているため、個人等への器具貸出や薬剤無料配布は行わないこととしている。

②平成24年度に警察、道路管理者、学校関係者、町会等の関係機関による通学路の緊急合同点検を実施。危険箇所などの情報を共有するとともに、中長期的な対策を要する箇所を除き、関係機関において必要な措置を講じている。

3. 職員の恒久的残業対策について

問 昨年の台風18号の豪雨災害における復旧作業のため、新年度になっても残業が続いていると聞く。市としてこのような恒久的残業に対してどのような対策を考えているか。

答 当市としては、職員の健康状態に留意しつつ、各課の状況を踏まえ、必要に応じて他課職員や臨時職員を応援として配置するなどして業務の軽減を図っていきたい。

今後このような災害があっても今以上に対処できるよう、技術職員等を定期的に採用・養成し、人員を確保していかなければならないと考えている。



光城地区街路樹



平賀農協種子センター



工藤 竹雄 議員



1. 第2期平賀総合運動施設整備事業について

- 問** ①平成21年度基本設計・平成22年度で実施設計の策定（構想・計画）について。
②計画見直し検証について。
③議論不足について。

答 ①平成20年9月議会では、21年度に基本設計、22年度に実施設計を行い、平成23年度から24年度の2年間でグラウンドを完成させる構想・計画を立てていると、当時の市長から答弁されている。

また、計画通りに実施されなかったことについては、平成20年暮れからのリーマンショックに端を発した経済不況の中で財政的な事情が変化し、慎重を期したことが要因である。

②第2期平賀総合運動施設整備事業については、平川市始まって以来の大型プロジェクトであり、市民の関心も非常に高いことからより良い運動施設を整備しなければならないと感じ、慎重に事業検証したいとの思いから、関係課に事業内容等を精査するよう指示したところである。

③関連予算案を市議会に提案するにあたり議案説明会でその概要を説明し、理解を進めるといった手続きがされなかった点についてはお詫びしたい。

市長の指示により担当部局において事業内容を精査、検討した上で市としての整備方針を固め、議員全員協議会への説明となった。

問 将来の人口減少社会の中で、当市のスポーツ人口の動態は。

答 スポーツ人口は、平成17年は大体8,000から9,000人。ここ1、2年の本市のスポーツ人口のピークは1万1,000人程度になる。

その後平川市の人口減に伴い徐々に減少するものの、10年後の平成36年頃までは大体1万人を確保するといった傾向になっている。

問 40年後までの維持管理経費の試算は。

答 現在のドームでは、年間2,800万円程度の維持管理経費になっている。

これから整備する主な施設は、陸上競技場、野球場を1面兼ねたソフトボール場2面で、広い敷地の管理と草刈り等の管理費がかかっていくため、年間の維持管理経費は1,000万円から1,200万円程度である。ただし陸上競技場が全天候型であるため、劣化した場合の修理費等の経費も計画的にみる必要がある。

問 平賀総合運動施設、スポーツランドひらか等を合わせた将来的な周辺開発についての考えは。

答 総合運動施設としての計画は、いま用地取得している中にすべて収まる予定である。今回の貸付している駐車場をなくすとなると、十分体育館用地も確保できる状況にあると認識している。

これからは規模、内容等を検討した上で議論し、長期総合計画の中に組み込んでいかなければならないと考えている。



齋藤 律子 議員



平川市役所本庁舎

1. 平川市長選挙における公職選挙法違反、並びに市社会福祉協議会やグループホームの事件報道について

- 問** ①綱紀粛正に対する取り組みについて。
②企業や団体との係わり方や天下り人事について。

答 ①現在、市内の集会所においてまちづくり懇談会を開催しており、市民の皆様と相互理解を深めながら誇りの持てる平川市をつくりあげていきたい。また、子育て支援事業、木質バイオマス事業等、当市で行われている先進的な取り組みのほか、市民の活躍等の明るい話題を積極的に発信することにより市のイメージアップにつなげたい。
②市から退職職員のポストをお願いしているようなことはない。ただし、団体側から事務に精通した人の推薦をお願いされた場合は、それに応えることはある。

2. 第2期平賀総合運動施設整備事業について

- 問** ①当初計画の基本設計、実施設計を議会に示さなかったのはなぜか。
②計画見直しの問題について、貸付している駐車場の問題を除いて実施設計を組んだのはなぜか。
③第2期工事はこれから議論の積み上げが必要である。

答 ①基本設計の段階では3案あり、比較した場合にさまざまな要望等が出てくるため、財政等も踏まえて選択は内部で進めるほうがいいのではという議論が当時あった。
②駐車場問題を解決せずに計画を組んだその理由に関しては、了解はしていない。そのことを外したことに問題があるということで、今回見直しを指示した。
③耐震の絡みもあり、築35年以上経過した現在の体育館も建替えなければならない、できれば運動施設の中で消化したほうが良いとのこと、今回の全員協議会の話し合いの中に入れてさせていただいた。規模や施設の目的等はこれから議論を重ね、長期計画の中に組み入れながら検討していきたい。

3. 庁舎建設計画について

- 問** 現状と考え方について。

答 現在本庁舎は建築から35年以上経過しており、耐震診断では震度6、7で倒壊する可能性があるとの結果になっており、災害時の拠点として望ましくない現状である。市民課や税務課等の市民と直接接する窓口が2階にありバリアフリーとは言えず、また縦割りの窓口機能によりワンストップサービスが行えない。その上分庁方式により、庁舎間を市民が行き来しなければならないなど、利便性はかなり低いものと考えている。

庁舎建設計画については現在庁内で検討しているところであり、財政状況と照らし合わせて問題を一度に解決できるよう、計画の柱となる基本方針の策定に向けて現在進めているところである。

全国市議会議長会

議員表彰

5月28日に行われた第90回全国市議会議長会定期総会において、市議会議員として長きにわたって、市政の発展に尽くされた功績により2名の方が表彰されました。

佐藤 雄 議員（在職15年以上）

議会における経歴

| | 任 期 |
|-----|-----------------------------|
| 第1期 | 昭和54年12月1日 ～ 昭和58年11月30日 |
| 第2期 | 昭和58年12月1日 ～ 昭和62年9月20日 |
| 第3期 | 平成11年12月1日 ～ 平成15年11月30日 |
| 第4期 | 平成15年12月1日 ～ 平成17年12月31日 |
| 第5期 | 平成18年1月1日 ～ 平成19年7月31日 |
| 第6期 | 平成19年8月1日 ～ 平成23年7月31日 |
| 第7期 | 平成23年8月1日 ～ 現在 |

成田敏昭 議員（在職15年以上）

議会における経歴

| | 任 期 |
|-----|----------------------------|
| 第1期 | 平成4年2月5日 ～ 平成8年2月4日 |
| 第2期 | 平成8年2月5日 ～ 平成12年2月4日 |
| 第3期 | 平成12年2月5日 ～ 平成16年2月4日 |
| 第4期 | 平成16年2月5日 ～ 平成17年12月31日 |
| 第5期 | 平成18年1月1日 ～ 平成19年7月31日 |
| 第6期 | 平成19年8月1日 ～ 平成23年7月31日 |
| 第7期 | 平成23年8月1日 ～ 現在 |

※全国市議会議長会表彰規程第2条の2により、市町村合併以前の勤続年数は2分の1の換算となっております。
※勤続年数は平成26年4月1日までの計算となっております。

議会を傍聴してみませんか

定例会は3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで 電話 (0172) 44-1111 (内線 1511)

議員全員協議会開催

平成 26 年度第 1 回議員全員協議会が 5 月 26 日に開催されました。第 2 期平賀総合運動施設整備事業について教育委員会事務局長及び企画財政部長から概要等の説明があった後、議員から活発な意見がだされました。



▲ 平賀総合運動施設予定地 ▲



▲ 議員全員協議会のようす ▲

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。
- ④ 紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ⑤ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

請願（陳情）者 住 所
氏 名 ㊟

紹介議員 氏 名 ㊟

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】

【理 由】

新議員の顔ぶれ

平成26年7月27日に実施されました平川市議会議員補欠選挙に8名が当選しました。
任期は、平成26年7月28日から平成27年7月31日までです。



くわた きみのり
桑田公憲 議員

[唐竹] 【新】

総務企画常任委員会



み うらじゅんいち
三浦純一 議員

[尾崎] 【新】

教育民生常任委員会



はらた あつし
原田 淳 議員

[沖館] 【新】

総務企画常任委員会



く どうてるあき
工藤輝昭 議員

[館田] 【新】

総務企画常任委員会



さいとうひでひと
齋藤英仁 議員

[蒲田] 【元】

教育民生常任委員会



お の けい こ
小野敬子 議員

[新屋] 【元】

建設経済常任委員会



いし た あきひろ
石田昭弘 議員

[猿賀] 【新】

建設経済常任委員会



おおかわ のぼる
大川 登 議員

[大光寺] 【元】

建設経済常任委員会

※ []内は行政区、【 】内は新人または元議員をあらわす。

* 議会の動き *

平成 26 年

- | | |
|---|---|
| <p>6月 4日 第37回黒石警察友の会通常総会に議長出席（黒石市）</p> <p>6日 議会運営委員会</p> <p>〃日 平成26年度平川市建設協会通常総会懇親会に議長出席</p> <p>8日 特定非営利活動法人平川市文化協会設立総会に議長出席</p> <p>12～19日 平成26年第2回定例会</p> <p>13日 平川市防犯協会通常総会に議長出席</p> <p>14日 碓ヶ関地域活性化推進協議会総会に議長出席</p> <p>22日 第19回平川市たけのこマラソン大会に議長ほか出席</p> <p>24日 平成26年度平川市労働福祉協議会通常総会に議長出席</p> <p>30日 平成26年度平川市物産協会通常総会懇親会に議長出席</p> <p>7月 1日 黒石市市制施行60周年記念式典及び祝賀会に議長出席（黒石市）</p> <p>5日 第8回津軽地区身体障害者スポーツ大会に議長出席</p> <p>9日 八戸・能代間、北東北横断道路整備促進期成同盟会及び角館大鰐間国道整備促進期成同盟会平成26年度合同総会に議長出席（秋田県鹿角市）</p> <p>11日 国道454号整備促進期成同盟会平成26年度要望活動に議長出席（青森市）</p> <p>13日 第58回平川市連合獅子踊保存会巡回競演大会に議長出席</p> <p>16日 平成26年度津軽南市町村議会連絡協議会第1回事務局長会議に事務局長出席</p> | <p>22日 第69回市町村対抗青森県民体育大会平川市選手団結団式に議長出席</p> <p>25日 第58回全国りんご研究大会園地視察会に議長出席</p> <p>31日 第8回弘南鉄道活性化支援協議会総会に議長出席</p> <p>8月 2日 平川ねぶたまつり2014に議長出席</p> <p>3日 〃</p> <p>5日 議会広報特別委員会</p> <p>〃日 第41回おのえねぶた祭り・表彰式に議長出席</p> <p>15日 碓ヶ関御関所祭りに議長ほか出席</p> <p>17日 第69回市町村対抗青森県民体育大会解団式に議長出席</p> <p>18日 平成26年度平川市戦没者追悼式に議長ほか出席</p> <p>19日 平成26年度津軽南市町村議会連絡協議会第1回定期総会に議長、副議長、事務局長出席（藤崎町）</p> <p>26日 第9回高齢者軽スポーツ大会に議長出席</p> <p>28日 平成26年度第2回臨時会</p> <p>〃日 第28回青森県消防操法大会解団式に副議長出席</p> <p>30日 平成26年度平川市水害対応型防災訓練に議長ほか出席</p> <p>〃日 尾上野球場ナイター照明等完成記念平川市ナイター野球交流大会に議長出席</p> <p>31日 第33回チャリティ商工会員とその家族・従業員慰安会並びに永年勤続者表彰式に議長出席</p> |
|---|---|

平成25年平川市議会傍聴者実績

(単位：人)

| | 期 間 | 傍聴者数 | | |
|--------|-----------------|------|------|-----|
| | | 平川市内 | 平川市外 | 計 |
| 第1回定例会 | 3月 4日 ～ 3月18日 | 24 | 7 | 31 |
| 第2回定例会 | 6月 6日 ～ 6月14日 | 25 | 6 | 31 |
| 第3回定例会 | 9月 6日 ～ 9月20日 | 18 | 7 | 25 |
| 第4回定例会 | 12月 5日 ～ 12月13日 | 18 | 6 | 24 |
| 合計 | | 87 | 26 | 111 |

(傍聴者数はのべ人数です。)

◆◆ 編集室 から ◆◆

熱く燃えた古希の夏

我が八幡崎ねぶた同志会、念願叶う熱い思いが、8月2・3日「平川ねぶたまつり2014」に初参加、小型の部で銀賞・運行優良賞などを受賞しました。

日沼・新山両地区のねぶた関係者の多数応援を率いての三町会合同運行でした。

威勢のいい「ヤーヤドー」の掛け声・金魚・津軽為信公・キャラクター等人形ねぶたが連なり、力強い太鼓・心を躍らせる笛、心が通う一心同体に感動しました。

更に会場の熱気に包まれた人びと…大きな拍手歓声がかかる観客の感激を肌感じました。

主催者発表の期間中の観客数は前年度比約18%増、4万5,000人。少子化等で参加できない町会の子供達に夢と希望、そして「子ども達の記憶に残るねぶた」、これが我々の一番大切なことと語る一戸会長。又、来夏へ誓いの杯交わす町会合同運行の協力に感謝します。

(熱く燃えた古希の工藤竹雄)